

仙 北 市

市議会

だより



仙北市議会 9月定例会	P 2
予算常任委員会	P 3
一般質問	P 4~11
総務文教常任委員会	P12

市民福祉常任委員会	P13
産業建設常任委員会	P14
いきいき広場	P15
控室・編集後記	P16

No.44



2016年11月1日発行
 発行 仙北市議会
 編集 仙北市議会・
 広報編集
 特別委員会

■神代こども園の運動会

— 9月定例会 —

第7 回定例会が9月2日～29日までの28日間開催され、平成28年度一般会計補正予算案など27件が審議されました。

初日には市長の専決処分の報告（1件）、条例の一部改正案1件、一般会計、特別会計、企業会計の各補正予算案が市から上程され、その後、平成27年度一般会計、特別会計、企業会計等の決算の認定についてが提案されました。そして、議会最終日にはクニマス未来館（仮称）の工事契約に関する同意案及び本庁舎の位置を定める条例の改正案・庁舎建設予定地の土地取得契約案等が提出され、本庁舎の位置を定める条例の改正案、庁舎建設予定地の土地取得契約案については反対多数で否決、クニマス未来館（仮称）の工事契約に関する同意案については賛成多数で可決されました。尚、平成27年度一般会計決算の認定については慎重審査をするため継続審査となり、10月11日各常任委員会審査、21日予算常任委員会で審査され、12月定例会に上程されます。

9月定例会 一般会計補正額 5億4,780万円
補正後予算 201億1,780万円に

可決された 主な議案

（予算関係は除く）

- 仙北市児童館条例の一部を改正する条例の制定について
- 平成27年度仙北市集中管理・下水道事業・集落排水事業・浄化槽事業・国民健康保険・後期高齢者医療・介護保険・生保内財産区・田沢財産区・雲然財産区・簡易水道事業等の各特別会計歳入歳出決算認定について
- 平成27年度仙北市病院・温泉・水道事業等の各企業会計歳入歳出決算認定について
- 工事請負契約の締結について（クニマス未来館（仮称））
- 意見書の提出について
（「子どもの医療費助成に係わる国民健康保険の国庫負担軽減調整措置の廃止を求める」意見）
- 知的障がい者支援に対する請願書
- 国道46号線沿いの適地への「道の駅」建設についての請願

議決結果/議員賛否

平成28年 第7回仙北市議会定例会（招集日：9/2 最終日：9/29）

議案番号	会派及び氏名等 件名	議決 月日	議決 結果	仁政クラブ					翠樹会			民政会議			市民クラブ		会派に属しない議員					
				黒沢龍己	田口寿宜	佐藤大成	高橋豪	稲田修	小林幸悦	真崎寿浩	荒木田俊一	大石温基	伊藤邦彦	安藤武	門脇民夫	八柳良太郎	小田嶋忠	平岡裕子	熊谷一夫	阿部則比古	高久昭二	
議案第83号	平成28年度仙北市一般会計補正予算(第3号)	9/29	可決	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛			
議案第94号	平成27年度仙北市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	9/29	認定	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛			
議案第95号	平成27年度仙北市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	9/29	認定	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛			
議案第101号	平成27年度仙北市病院事業会計決算認定について	9/29	認定	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛			
議案第104号	工事請負契約の締結について	9/29	可決	賛	賛	賛	賛	退	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛			
議案第105号	仙北市役所の位置を定める条例の一部を改正する条例の制定について	9/29	否決	無記名投票 賛成9 反対10(議長を含む)																		
議案第106号	土地の取得について	9/29	否決	無記名投票 賛成6 反対12(議長除く)																		
請願第4号	国道46号線沿いの適地への「道の駅」建設について	9/29	採択	賛	賛	賛	賛	賛	反	反	反	賛	賛	賛	賛	賛	反	反	賛	賛	賛	賛

凡例：賛→賛成、反→反対、退→退席、欠→欠席（議長は、法律に定める特定のケース以外では表決をしないことになっています）
※ 全会一致及び無記名投票で可決された議案については議決結果/議員賛否を掲載していません。

予算常任委員会

補正予算5億4780万円を賛成多数で可決

予算常任委員会は本会議から付託を受け9月15日に付託議案審査、23日に各分科会審査報告、同報告に対する質疑および会派質疑、27日に討論・採決が行われた。

■主な歳出

社会保障・税番号制度システム整備費	295万円	し尿処理場管理運営費	5,283万円
番号制度に係る小中学校ネットワーク分離業務。		汚泥再処理センター機器修繕等。	
みちのく三大桜名所プロモーション強化事業費	200万円	ごみ処理場管理運営費	7,396万円
北上市、弘前市と連携した海外向けプロモーション強化事業。		環境保全センター機器改修工事。	
インバウンド横軸連携受入整備事業費	1,358万円	温泉事業会計補助金	4,500万円
2次交通運行、4市連携2次アクセス整備業務委託。		温泉事業会計補助金の追加。	
インバウンドサイクリングコース活用事業費	421万円	冬季交通対策費	3億2,418万円
広域サイクリングコース整備に係る調査・企画事業。		除排雪関連経費の追加。	

議論のポイント

～予算委員会質疑から～

クニマス里帰りプロジェクトについて

質問 具体的な使途とその予算効果が見込めるか。

答弁 アドバイザー2名の謝礼・旅費である。田沢湖の歴史・生態等わかりやすく、魅力ある展示にするようアドバイスをいただく。

有害鳥獣駆除事業について

質問 檻は市でいくつあるか。今後の対策・対応は。

答弁 檻は市で13基、田沢湖猟友会4基、角館猟友会1基の計18基ある。人的被害の防止と駆除を最優先に、鳥獣被害対策実施隊等と連絡を強化して、クマ被害防止に努めていく。

インバウンド事業（観光復興交付金）について

質問 国交付金の活用と仙北市経済への波及効果について。

答弁 東北復興対策交付金を充たし、3カ年（28、29、30年）

事業で、国が8割を負担する。みちのく三大桜名所、横軸連携、サイクリングコース活用の三事業である。効果は広域事業として、29年300人、30年600人増を見込んでいる。宿泊人数5万3千人（県内）が目標である。

環境保全センター費について

質問 昨年の事件は、一社のみの随意契約が長年続き、見抜けなかった事が原因である。この予算の内容・詳細についてと今後の契約方法、業者選定は。

答弁 し尿処理場は、汚泥再生処理センター機器・計器の修繕費、各種ポンプ場の点検整備費等である。ごみ処理場は、環境保全センター機器類の改修工事費等である。

設備の構造・機能・施工と性能について、修繕、工事に分けて個別に検討している。

本工事の必要性和妥当性を外部の専門家から精査して頂いている。金額の妥当性は、指名審査会と「随意契約適正化ガイドライン」に則り、透明性の確保に努めている。

街灯設置状況について

質問 予算化された街灯設置状況と当初予算の迅速な執行をお願いする。

答弁 外の山線や西明寺中の通路等9基は設置済みである。105号線の高校通学路には、電柱・電線が無いので、東北電力と協議中である。できるだけ早く設置していきたい。

反対討論

クニマス里帰りプロジェクトのアドバイザーへの予算である。田沢湖再生の目的達成にはかなりの年月がかかる。クニマスの生態展示と稚魚の借り入れも難しい。現実を直視すれば、時期尚早と考えるので反対する。

マイナンバー制度は、プライバシーを侵害し、徴税の強化・社会保障・医療費にも係わってくる。将来、暮らしは窮屈になってくるので反対する。

採決

賛成多数により
補正予算案は可決
された。

納めて頂いた税金の用途に
慎重な対応が必要ではないか。



仁政クラブ 田口 寿宜 議員

市長 最善の努力をしている。



■観光振興に対する入湯税の効果的な活用を望む

市民生活の状況を把握・分析
できているのか。

質問 市民生活の状況の把握・分析を行った上で、施策・事業の展開を図る事が基本と考えるが、市当局では、どのように状況の把握・分析を行っているのか。

答弁 市民等を代表する各種委員会からの意見・提言を政策と予算へ反映する事に一生懸命取

り組んでいる。また、まちづくり懇談会や地域団体や経済関係者の方々等と意見交換を頻繁に行っており、様々な意見・要望

を頂く事も大変重要な場面である。更に、総合計画に掲げた指標の進捗状況や各種統計調査の結果、市の施策に対するアンケート調査の実施等々で状況の把握・分析を行って来ている。

質問 市民生活が豊かになって来たという状況を、目に見える形でしかも肌で感じ取る事によって、施策・事業の成果・結果が出て来るもの

なっているという受け止め方をしている。

入湯税の活用について問う

質問 入湯税について、事業者からは、観光施策を通じてしっかりと目に見える形で還元すべきとの声が多数ある。今年度予算では、

観光関係にも配分されていたが、今後、どのように効果と結果が現れるのか。

答弁 老朽化している

引湯管を、例えば入湯税を活用

し布設替えを行う等、新制度の

立ち上げの検討に既に入ってい

る。ハード・ソフト両面に渡る

観光政策を計画的に進め、温泉

資源を有する観光地として、安

全で快適な環境づくりに活用し

ていきたい思いを持っている。

質問 子育て関連の施策・事業

では、所得制限を設けているも

のが見受けられる。所得制限の

在り方について、今後、検討を



■子育て支援に対する所得制限の再考を

加えるべきと考えるがどうか。

答弁 今後の人口減少であったり、また、子育て環境の総合的

な充実の視点から考えると、例

えば、国や県のメニューであつ

たとしても、様々な場面をとら

えて所得制限制度そのものの在

り方について、議論をする必要

はあるというような思いを持つ

ている。

(八柳良太郎記)

神代診療所に一日も早く常勤医を。



翠巒会 大石温基 議員

市長

各医療機関との連携を深め、積極的に招聘にあたっていく。



■常勤医が待たれる神代診療所

診療所はどうなるのか

質問 神代診療所の伊藤先生は、なぜ辞めて行ったのか。

答弁 在宅医療のサポート体制も含め、両市立病院との病診連携が思う形ではないことや、65歳定年制度への不満ではないかと思う。

質問 よく主治医を持ってと言われる。同じ先生がいつもいると安心感もあると思うので、一日

でも早く常勤医を置いていただきたい。

答弁 各診療所は、地域の皆さんが、いつもで安心して診療が受けられる地域の診療所、生活に密着した診療所が一番大切と思っている。そこには、地域の皆さんから慕われる常勤医の主治医的存在が、絶対に欠かせないと思っている。今後も各医療機関との連携、連絡を深めて積極的に常勤医の招聘にあたっていく。

市道法面の 草刈りや側溝の 掃除は

質問 現在は各自で行っているが、これからは難しくなるのではないかと。

答弁 市直営、町内会や道路に隣接する土地所有者が行っている。今後、ますます高齢化、過疎化が進み、各自の作業が難しくなることが予想され、大変心配

している状況である。市直営での作業に協力にする。また、委託という形で外部にお願いする。隣接する土地所有者、各団体への協力と、対応を検討していかねばならない。

産業発展に向け 連携はなされて いるのか

質問 観光、商工、農業、市が一つになって話しかかれているのか。

答弁 農商工観光連携の取り組みを実現するために、市は非常に大きい役割を担っていると認識している。企業等連絡協議会、産業推進委員会、また、農林業、商工業、観光業など関係する団体と密接な連携をしていきたい。

上下水道・交通 システムの進捗状況は

質問 上下水道の推進、地域内

交通システムの確立、とあったが、どの程度進んでいるのか。
答弁 上下水道は2年遅れで、下水道は集落排水と合併処理浄化槽で、目標をクリアしている。公共交通は市民バス4路線とデマンド型乗合タクシーがある。デマンド型は、わかりにくいというご指摘もあったが、市民の方々に浸透してきて利用者が増えている。



■法面から市道に張り出した草

(伊藤邦彦記)



民政会議 伊藤 邦彦 議員

落合球場の不備について伺う。

市長 来春の開幕まで改修を図っていく。

落合球場について伺う

質問 長い歴史のある全県少年野球大曲仙北地区予選会場から落合球場が除外された。その経緯について伺う。

答弁(教育長) 平成27年度の水質検査の結果において、その水質が基準に適合しない事が判明したためである。

質問 来年度の大会に復活を期して早急に対策を取るべきだ、所見を伺う。

答弁 来春開院予定の市立角館新病院付近から上水道を引き、野球シーズン開幕まで完成させたい。

質問 同野球場の時計も壊れている。スコアボードのSBOもB SOに国際基準が変わり数年が経過しているにも拘わらず依然として改修に至っていない。この状況をどうとらえているのか伺いたい。

答弁 私の中では改修済みとの勘違いがあった。早急に改修を図りたい。

質問 25年度に田沢湖球場の改修が終われば落合球場の改修に入ると実施計画には示されている。にもかかわらず一向に改修の動きが見えない。その対策を伺いたい。

答弁 市民生活に直結する優先度の高い事業が控えており、その為年次計画を変更してきた経緯がある。平成29年度に関係者と協議、再調査を行い実施に向かいたい。

質問 旧角館東小学校学校グラウンドのフェンスの傷みが激しい。使用団体も多く早期改修が出来ないか。

答弁(教育長) 体育施設マスタープランを基に修繕、補修を実施して行きたい。

質問 かねてから要望している西明寺中学校野球場バックスクリーン、審判員控え室等について現状を伺う。

答弁 西明寺中学校体育館の屋根の雨漏り事案が起きたりで順調に進んでおらないことは十分承知している。年次計画にのせて一つ一つ果たして行きたい。

AEDの設置状況について伺う

質問 尊い人命を救うためAED装置を昼夜いつでも使用できるように、24時間営業しているコンビニへの設置を依頼できないか。

答弁 市内全体には98台のAEDが設置されている。設置をする際は、温度、湿度、ほこり、また、気温の低い場所への設置は寒さによりパッドジェルが固まって機能を果さない等の注意点がある。提案のとおり市内コンビニエンスストアに協力要請をするが経営者、また、スタッフの負担を最小限にする事等を含め精力的に協議を進めて行きたい。



■多くの不備を残したまま改修されないスコアボード



■24時間営業店への設置が待たれるAED

答弁 市内全体には98台のAED

(大石温基記)

さくら祭りから連休まで
切れ目のない誘客策をとれ。



市民クラブ 八柳 良太郎 議員

市長 計画的に整備をしていきたい。



■角中通学路 電柱移設を

死傷者が
でてからでは遅い

角館中学校通学路改善を

質問 横町橋を渡った桜美町側の道路は橋からいくらかも行かないうちに、狭い道路のすぐそばに電柱が立ち朝夕危険な桜美町の通学路の電柱付近は改善箇所
に該当しているか。

答弁(教育長) 重要な改善箇所となっており、車道と路側帯が
区別できるようグリーンベルト

等を設置し、事故防止に努めている。

質問 電柱移動がいいのか、電柱もグリーンベルトも含めたもう少し広い歩道を南側につくつか、もしくは横町橋の上流に歩道をつくるか。どの案を採用するのか。改善策を決めるべきだ。
答弁(教育長) 具体的方策については指摘の通り複数の方策が考えられている。根本的解決を図るためにも今後電柱移設の方法で関係機関と早急に協議を進めたい。

古城山からの
世界一の景観を
売り出せ

質問 地球温暖化で桜の咲き始めから散り果てまでが早くなり4月25、26日頃で葉桜になるようである。その後5月の連休まで閑散となる。客が減少していると思われる原因の一つである。古城山からの町を含めた眼下の全景は世界

一ではないか。

古城山の清掃・整備は
どうなっているのか。

答弁 「里山に親しむ地域づくり」に係る団体が議論した内容を踏まえ、28年からまちづくり運営体で森林環境の保全事業として枝打ち、下刈り等の下準備作業に入っている。

質問 古城山の桜の景観保持の為、ウソ対策の現状はどうか。

答弁 松木内左岸の内川橋から鶴ノ崎橋上流

まで2キロの範囲で取り組んでいる。食害が軽微であったので捕獲の為の猟銃駆除は行っていない。

質問 遅咲きの桜を選定すべきではないか。

答弁 遅咲き桜として「関山」を中心に考えてもいいのかと思う。

分庁舎方式は将来
経済的負担が大きい

質問 分庁舎方式は自治法上の第2条第14項「事務を処理する

に当たり住民の福祉の増進に努めるとともに最小の経費で最大の効果を上げるようにしなければならぬ」との明文に反しないか。

答弁 分庁舎方式を継続してゆくことは、後年に大規模な整備事業を先送りすることになる。将来市民に大きな経済的負担を強いることは間違いない。もはや、問題を先送りするいとまも財政的余裕もない。

(田口寿宣記)



■仙北市の顔 田沢湖庁舎、早急な耐震工事が必要



高久昭二 議員

なぜ地区住民への
事前協議をしなかったのか。

市長 行政指導が不足していた。

メガソーラー事業に
対する市の対応と
責任を問う

質問 仙北市がふるさと融資や利子補給の支援をした、卒田黒倉地区に進出した民間のメガソーラー事業者が何故、地区住民への事前協議をしないで事業を進めたのか。

答弁 市が民間事業者に対して、地区住民への説明責任の果し方への行政指導が不足していた。

会いや、事前協議がされなかったのは何故か。

答弁 境界の立ち会いや事前協議がされないという認識を市は持っていない。

質問 抱返り自然公園や黒倉遺跡への影響はないか。

答弁 調査の結果、問題はないとの認識である。

質問 土地改良区用水路の橋等の法定外公共物の使用については市は同意したのか。

答弁 現地立ち会いを行った結果、違法性がないということで認可している。

質問 地区住民と事業者との災害時を含めた協定書が締結されていないのは何故か。

答弁 市、土地改良区、事業者との協定は締結されたが、地区住民との協定は協議中である。

司食品工業を誘致
できなかった
市の責任を問う

質問 市長は、司食品工業誘致の為支出した2億5千万円の損害賠償訴訟等の法的措置を取るとしていたが、新たな企業誘致にはプラスにならないと提訴を見送るとした真意を伺う。

答弁 提訴については一時考慮したが、同一敷地に、新たな企業誘致を進めている段階で、その敷地に関する係争事案にすることは、企業誘致にとつて利がないという、私の判断である。

質問 ブラック企業的体質により従業員が労働組合を結成したとの情報を入手し、市に独自の商工リサーチを求めたが調査しなかったのは何故か。

答弁 秋田銀行との長い信頼関係があつての銀行による企業誘致の橋渡しだと認識しており、信頼関係による対応をした。

乳頭温泉郷硫化水素ガス
事故と市の対応を問う

質問 作業時、ガス測定器、ガスマスクの携帯をさせず、致死量を遙かに超えるガス濃度の中



■新企業の誘致が図られるか

での作業中死亡された。遺族の皆様が市への損害賠償の申立てをされたが、市の対応を伺う。

答弁 ご遺族からの損害賠償申立書提出につき、副市長を責任者とし、総務課を窓口として12月定例会まで、慰謝料、損害賠償額を定め顧問弁護士に意見を求め、議会に諮り誠意をもつて進めたい。

(門脇民夫記)

「フードバンク」への支援活動を。

公明党 熊谷一夫 議員



市長 フードバンクの運動に参加する方向で協議していく。

設計・積算の 専門性を持つ 職員の採用を提言

質問 設計・積算の専門性を持つ1級建築士の職員採用を提言する。

答弁 今後の事業量を考えると採用したいという思いである。できるだけ早い時期に方針づけたい。

「食品ロス」の削減と フードバンクの 支援活動を提案

質問 年間632万tもの食品ロスを減らす為に30・10運動や学校教育等で啓発を進めるべきではないか。

答弁 保育園や小・中学生を対象に「食に感謝する心をはぐくもう」と食料の大切さ、もったいない意識を盛り込み推進活動を行っている。今後は食品ロス削減の為30・10運動の情報発信を行っていききたい。

質問 ①本市の生活困窮者の世帯数と対応はどうか。②災害用



■危険度判定を行う大仙市職員
(1級建築士)

の備蓄食品をフードバンクへ寄附の考えは。③食品回収ボックスの設置を提案する。

答弁 ①生活困窮の相談は昨年度91件である。社会福祉協議会と連携して対応している。

②更新時に余剰食が発生するのを想定して寄附等に取組みたい。
③市としてフードバンクの運動に参加する方向で関係団体と協議していく。

「国土強靱化地域計画」の 策定により防災対策を強固に!

質問 今後の大規模災害から市民の生命・財産を守る為に「国土強靱化地域計画」を早急に策定すべきと考えるが、いつごろを目途に、その内容についてはどうか。台風等の防災対策の見直しの必要はないのか。

答弁 早急に策定すべきと考える。県や関係機関との連携もある。約2年を目途に進めたい。内容は、人命保護と市民の財産及び公共施設被害の最少化など、地域防災計画と調和を保ちながら進めていく。台風10号の時は情報収集し、災害対応をしっかりと行った。災害時の対応は、改善の余地があると認識している。

(佐藤大成記)



■フードバンク回収ボックス(秋田市社協)

用語解説

30・10(さんまる・いちまる)運動…宴会等での食べ残しを減らす為に、乾杯後の30分と終了前の10分間は自席で食事を楽しむ運動。
フードバンク運動…消費期限が迫った食品を引き取り、生活困窮者へ無償提供する運動

育英資金の運用に問題があるのでは。

議員 荒木田 俊一 翠巒会



教育長 問題点があれば是正したい。

育英奨学資金の免除について伺う

質問 現在の免除の件数、年間の総額は。

答弁(教育長) 43名、総額512万3千600円になる。

質問 奨学資金の原資を出してくれた方々や団体に原資が減になる事を説明したのか。

答弁(教育長) 説明の機会を設けなかったことは大変申し訳なかった。今後機会をとらえて最

大努力をしまいたい。
質問 原資が不足した場合の対処は。

答弁(教育長) 3月末日時点で確定し、それから審議会に諮り、議事に提案したい。

意見 定住対策の政策として行うのであればすべての奨学金が対象となる補助型の新制度にするべきと提案する。

性を図る上で有効な事業と強く思っている。国の農業基盤整備事業に採択されるよう全力で取り組み、その上で採択の見込みが無いケースについては市単独の対応も実現できるように取り組みたい。

質問 市が一生懸命取り組んでいることが農家のやる気や安心感につながると思うがどうか。

農家に好評だった簡易な土地改良は無くなったのか。

質問 畦畔除去などの区画拡大事業はなくなったのか。

答弁 事業としては無くなっているが26年度に新たな事業が創設され耕作条件改善事業が難しい状況である。

質問 このままでは耕作条件の不利地の解消が出来ないがそれで良いのか。

答弁 作業の効率化、農地の貸借条件の優位

答弁 みんなでやっていきましようという機運を創る事をまずやらなければならない。その気概を応援できるように状況になるよう、一生懸命取り組みたい。

市有地・建物の活用処分について伺う

質問 学校跡や所有地の活用についてどう管理していくのか。

答弁(教育長) 公共施設管理計



■荒廃が心配される農地

画で方針を示すことで準備を進めている。現在解体ということで進めているものもある。土地も公売の方向のものもある。義務的な経費が膨らむということは明らかであり荷物は早く精算したい思いである。

(阿部則比古記)

建設労働者・職人労働者の資格取得に助成を。

仁政クラブ 黒澤龍己 議員



市長

職業技術向上の支援と
経済的負担軽減の制度を作って対応したい。



■遊具の設置が待たれる駅東公園

遊園地計画はあるか

質問 お母さんたちから、子どもが遊べる場所がないと言われる。仙北市の実態はどのようになっているか。

①遊園地の数は。②多くの子ども達が遊べる遊園地計画は。③実施計画の可能性と場所。
答弁 遊具が設置されている児童公園は14か所。都市公園は9か所、遊具施設は生保内公園のみである。大規模な施設設備は、現在はない。

落合運動公園内に、遊具設置の提案をいただいております、す

に協議検討を始めている。雨天でも遊べる施設の充実を実現させたい。

落合球場の飲料水と設備について伺う

質問 飲用できない理由は何か。管の腐食が原因とするなら、室内の配管の調査を早急にやるべきと思うがどうか。

答弁(教育長) 配管の調査をし、つかりやり、6月初旬に間に合わせたい。

質問 仙北市の野球場は電光掲示板になっていない。今後の対応策は。

答弁(教育長) いろいろな関係機関、財政、担当課で、できるだけ速やかに対応できるように頑張りたい。

仙北市雇用対策、資格取得サポート補助事業について伺う

質問 建設労働者、職人労働者への助成対象の要件と内容についてどのようになっているか。

るか。

答弁 勤労者対策・雇用対策・雇用創出の3事業には助成をしている。勤労者対策事業の要件として、常時雇用者が5人以上、仙北市商工会員であること。雇用対策事業は、市内に在住の離職者や求職者、学卒者未就職者の資質の向上、就労の促進を図るもので市民を対象。雇用創出事業は、新規雇用企業に一人当たり30万円を限度に助成している。市内の業者数は商工会調べで1467業者があるが従業員5人以上の事業所は312事業、商工会員になっている事業所は254事業と少ない。助成対象に企業が大多数となつている。この状況ではないかと思つている。

質問 補助、助成に該当する職種はいくらあるのか。

答弁 建設労働の職種7業種、職人の職種は9職種程度であると思つている。

質問 年齢制限はされているのか。
答弁 勤労者対策事業は、制限がない。雇用対策事業は、制限はないが条件がある。雇用創出



■建設労働者の資格取得にサポートを

事業は、65歳未満の方でハローワークを通じての雇用で雇用保険、社会保険等の加入が条件になっている。

質問 市独自の市民全体を対象にできる就業支援、資格取得への助成はあるのか。

答弁 現在、市民全体を対象にできる就労の確保、就業支援、資格取得に支援がない。仙北市建築技能組合の方々からの要望書の中で、市が独自で行わないといけないと思われような補助がないと指摘を受けている。制度の構築を図りたい。

(平岡裕子記)

平成28年度予算 主な内容

地方創生特区推進事業費	14万円	北京でのフォーラム参加旅費。
ヘルスケアツーリズム推進事業費	45万円	玉川温泉を活用した事業費。
クニマス里帰りプロジェクト事業費	69万円	アドバイザーへの謝礼・旅費。
街灯費	81万円	さくらパークからセントラル工場間の街灯設置費用。

ここが知りたい議論のポイント 平成28年度予算 主な質疑

質問 フォーラムの概要と現地での具体的な活動内容は。

答弁 2016 科学技術イノベーション等社会発展フォーラムに、経済産業省より要請を受け参加する。仙北市の魅力や観光資源、特区活用事業を紹介する予定である。

質問 玉川温泉を活用した外国人医師の招聘事業の進捗状況は。

答弁 内閣府の方から、仙北市に対して認可されている規制緩和であり、早期に実現するように言われている。本年度中に、何らかの方向性を議会に示したいと考えている。

質問 クニマス里帰り事業は、県との共同プロジェクト事業である。田沢湖クニマス未来館（仮称）の設計額の計算間違いの問題の結果、昨年度が受けた補助金を返還する必要はないか。

答弁 県には今回の経緯を説明した。県にも了解を頂いており、返還の必要はない。

質問 街灯設置事業は、当初の予算で企画した事業であるにもかかわらず、いまだに完了していないのはおかしいのではないか。

答弁 年度当初の4基は既に設置済みである。設置予定のエリアには、現在電線がないので、東北電力と調整しながら実施していく。



■計画的な街灯設置を

特別会計の審査

平成28年度 仙北市生保内財産区 特別会計補正予算について



質問 今後の事業運営を心配している。森林の保育事業を行う人員は足りているのか。

答弁 間伐等を行う作業員は確保されている。しかしながら、保育にかかる下刈りや除伐関係は、思ったような作業体制が取れていない状況と聞いている。高齢化による作業員減少が顕著であり、後継者の育成に努めなければならない状況にあることを認識している。

請願

請願理由

国道46号線沿いの適地への「道の駅」建設についてを採択

- ・農家等の所得向上のため、産業・観光振興の拠点が必要と考えている。市と議会には、実現に向けて努力して欲しい。
- ・自然災害の多い仙北市においては、防災機能を持つ道の駅が必要だ。

議論内容

質問 事業主体はどうするのか。

答弁 公設民営しかないと考えている。

質問 採算性は。また、通年営業をどのように行うのか。

答弁 物販機能を重視した形がふさわしいと思う。通年営業の為には、冬が課題となる。沿岸地域とも連携しながら、賑わいを創出するなどの方法があると思う。

議員意見

- ・継続審査として、研究課題とすべきだ。
- ・既に課題は明確になっている。観光のワンストップ化の観点からも適地だと思う。採択すべきである。

市民福祉常任委員会

平成28年度予算 主な内容

し尿処理場管理運営費

5,282万9千円

汚泥再生処理センターのポンプ・機器類の点検、整備。

ゴミ処理場管理運営費

7,395万9千円

環境保全センターの機器類の修繕、更新。

主な質疑

質問 積算根拠が分かるように示すべきではないか。

答弁 ごみ処理・し尿処理施設のプラント系では、国交省等が出している基準書はない。ただ、基準書に準じているものとして、(社)全国都市清掃会議が出している廃棄物処理施設点検・保守工事積算基準図書、諸経費の部分については、国交省から出されている公共建築工事共通積算基準などがあり、コンサルでもこれらのものを使用し積算した。今回の補正予算の金額は、かなり精査されたものであると考えている。また、透明性の確保という観点から、外部コンサルを入れ、随意契約の場合はガイドラインに従って実行し、同業他社の参考見積をとり、もしもの場合の責任の所在をはっきりさせることが重要であると考えている。



■不祥事からの脱却、正常化が図られた環境保全センター

平成27年度 仙北市国民健康保険特別会計 歳入歳出決算認定について



主な質疑

質問 平成27年度で、一般会計からの1億円の基準外繰入は終了しているが、今後の国保財政の見通しは。

答弁 平成28年度以降の財源としては、低所得者が多い国保保険者に対する国からの保険安定基盤繰入金金の増、保険税軽減の減免分に対する法定繰入金金の増を見込み、それに合わせ、前年度までの繰越金、第1期安定化計画で積み立てた国保事業財政調整基金の取り崩しなどを財源にしたい。また、現在の財政調整基金は約1億5千万円であるが、平成30年の広域化までに約8千万円の取り崩しを予定している。

平成27年度 仙北市病院事業会計決算認定について



不認定、認定の立場から、次のような討論があった。

不認定……田沢湖病院への一般会計からの多額な基準外繰入の現状に対し、抜本的な改善策が必要である。

認定……本市の魅力をしっかり持ち得た医療改革プランの作成と医師の確保が重要である。医療局の果たすべき使命は大きい。市長部局と連携し、医療体系の確立を要望する。

平成28年度予算 主な内容

東北観光復興対策交付金

1,979万円

- みちのく三大桜名所プロモーション強化事業(弘前市・北上市と連携)
- インバウンド横軸連携受入整備事業(秋田市・男鹿市・大仙市と連携)
- インバウンドサイクリングコース活用事業(美郷町・大仙市と連携)

東北観光復興対策交付金とは(東北6県で総額予算32億円)

東日本大震災により大きく落ち込んだ東北への外国人観光客を回復させインバウンド急増の効果を波及させることにより、観光を通じて被災地の復興を加速させるための取り組みを支援するもの。8割が国負担である。3年間に渡る交付金。

温泉事業設備基金繰入金

4,500万円

新水沢源泉より田沢湖温泉郷へ引湯する費用。

浄化槽設置整備事業費

209万円

浄化槽5人槽4基、7人槽10基分助成。

むらっこ物産館排水桝・花葉館排水ドレン修繕費

243万円

むらっこ物産館、花葉館修繕費。

有害鳥獣駆除事業費

162万円

猟友会員出勤費、檻の修繕費、免許取得者助成。

中小企業活性化支援事業費補助金

1,200万円

市内中小企業を応援するための補助金。

冬期交通対策費

3億2,417万円

除雪にかかる費用。27年比986万増。

河川改良事業費

158万円

刺巻上水沢川の護岸工事。

住宅リフォーム促進事業費補助金

180万円

住宅・浄化槽設置分の補助。

平成27年度 会計決算



9月16日 現地視察

■まもなく!! 新水沢源泉から田沢湖温泉郷へ
(湯量豊富・温度56~7度)

特別会計決算(歳出総額)

下水道事業	8億3,970万円	浄化槽事業	7,667万円
集落排水事業	4億4,733万円	簡易水道事業	4億6,831万円

企業会計決算(事業収益・事業利益)

温泉事業	3,118万円(△1,638万円)
水道事業	3億1,875万円(3,152万円)

意見

- ・温泉管の修繕は危険を伴うので契約を締結すべき。
- ・水は一番重要!! 未普及地域解消に向け早急に取り組むこと。

田沢湖クニマス未来館(仮称)

新築工事設計に4214万円の 計算の間違いが発覚

田沢湖クニマス未来館(仮称)の新築工事設計に計算の間違いが発覚したことを受け議会全員協議会が開催されました。設計を行ったのは、秋田市の(株)渡辺佐文建築設計事務所で、発覚後の工事費の総額は、2億7180万円(4214万円増)でした。協議会では、規模を縮小した設計変更案が市から示され、次のような質疑が議員から出されました。

協議会での主な質疑

質問 計算の間違いはなぜ起きたのか。

答弁 設計事務所の設計担当者のミスである。

質問 市はなぜ、計算の間違いを見抜けなかったのか？

答弁 契約検査室等でチェックしているが、見抜くことが出来なかった。一級建築士の資格を持つ職員がいなくても問題かもしれない。今後チェック体制の在り方を検討したい。

質問 クニマス館の設計変更によって目的とする、本来の施設機能を果たせないのではないか。

答弁 規模縮小によって、意匠は損なわれないと認識している。

質問 間違った額を設計事務所に全て負担してもらえないのか。

答弁 顧問弁護士と協議したが、金額は法律的に難しいと考えている。

仙北市と設計事務所との間で、次の内容を定めた覚書が締結されました。

- (1) 間違いのあった設計図書を修正し、再納品すること。
- (2) 間違いによって生じたスケジュールの遅れにかかる、損害を賠償すること。
- (3) クニマス館設計図書委託料1022万円を全額賠償する。
- (4) クニマス館の外構工事で予定されているパーゴラ4基と法面保護材に係る工事費相当額1080万円を賠償する。

協議会では、新築工事にかかる設計金額の最終案が示されました。設計金額は、2億5218万円。延べ床面積は793.64㎡から687.27㎡に縮小となりました。それに伴いトイレ数や研修ホールの席数が減少しています。

その後、9月23日に再競争入札が行われ、施工業者が決定し、9月29日の議会最終日に工事請負契約が可決されました。入札金額は、2億4948万円です。クニマス館のオープンは来年6月頃になる予定です。

～ いきいき広場 ～ 子どもたちへの 絵本等のおはなし会 「うさぎのみみ」

代表 佐藤^{ひげ}滋子
仙北市総合情報センター
学習資料館おはなしコーナー
(☎0187-43-3333)

会の活動方針

おはなし会では、絵本や紙芝居を通じて、様々なお話しの世界を、子供さんだけでなく、親御さんも一緒に楽しんでいただけるような場になりたいと思っています。

活動内容

絵本の読み聞かせと紙芝居が中心のおはなし会です。季節感を取り入れながら、昔話から最新作まで幅広いジャンルから選んだ内容になっています。間合いには、手遊びや歌を交えながら、小さい子供さんも楽しめるように工夫しています。エプロンシアター有り、工作有りの盛り沢山の内容です。毎年12月には、クリスマス会も行っています。

活動を始めたきっかけは 何でしょうか。

自分の子供に、絵本を読み聞かせしているうちに、自分自身が夢中にな

ってしまいました。絵本の楽しさを、多くの子供さんに伝えたい、共有したいと思ったのがきっかけです。

活動時間について お知らせ下さい。

おはなし会「うさぎのみみ」は、仙北市総合情報センター、学習資料館おはなしコーナーで、毎月第1土曜日(第2土曜日の月もあります。)午前10時～11時に開催しています。

国、県、市に 望むことは何ですか。

身近で手軽な遊具であり、娯楽の一つである絵本は、最近ではおはなしの内容も、本の型式も多種多様になっています。子供さんはもちろんですが、一般の大人の方も充分に楽しめると思います。これからは、子供さんだけを対象にするのではなく、大人も気軽に絵本に触れられるようなイベントの開催を期待しています。



▲代表
佐藤^{ひげ}滋子
(左側)

控室

パンドラの箱

【**紆**】

余曲折とはこういう時に使う言葉なのかと思う

ほど曲折を経たあげく、統合庁舎の建設位置が白紙に戻った。一方で住民の地域感情や議会内部に、取り返しのつかない亀裂と爪あとを残してしまった。

門脇市長はその責任を議会に転嫁しようと必死だが、そもそも議会の責任を問える資格があるのだろうか。自らが委嘱した「みんなの庁舎検討委員会」（木村一裕委員長・都市工学・秋田大学教授）が答申した仙北市統合庁舎は「羽根ヶ台付近が適地」とする案を同委員会や議会に対してすら何の相談も方向性を諮るでも無く、独善的に答申を反

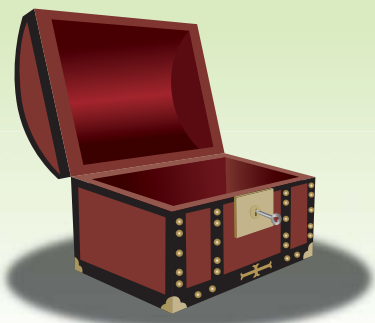
古にし、「角館病院跡地案」を市当局案として議会にゴリ押しした事によって、パンドラの箱が開いてしまった。

それまで議員の誰一人「羽根ヶ台付近案」に異論を唱える者も無く、答申案はどの角度から見ても妙案とする意見が多かったが、この事によって議会内部は暗雲が一気に天空を覆う様な空気になった。

呼応するように住民の地域感情や対立感情に火がついた。その後は当局も庁舎建設特別委員会も見苦しい程に迷走、逡巡した9月定例会の最終日の採決で角館駅前案は三分の二どころか賛成9反対10と過半数にも満たない形で否決された。反対の10名の殆どが羽根ヶ台案を主唱する面々であった事を勘案すれば、これまでの無用の混乱と対立は果して何だったのか、特に行政は薄氷を履む思いで取り扱うべき住民の対立感情にいたずらに深く亀裂と、傷をつけてしまった。その原因と責任は何処

にあるのだろうか。議員の多くが出身地区を背景にして、水と油の様に分離した挙句、歪んだ私情や私怨がビンの底の澱の様に沈殿してしまった。今後市政と言うビンが揺れるたびにこの澱が市政の濁りとして作用する事は無いだろうか。今後の市政と議会のあり方や議論のあり方に反省点を反映させて行くためにも、しっかりと検証して行かなければならないだろう。早くこのパンドラの箱に蓋をしなれば市民の市政に対する希望すら失せてしまうのではないか。

（阿部則比古記）



編集後記

9月定例会が終了した。本庁舎の位置を変更する条例の一部を改正する条例案が市から提案され、反対多数で否決された。庁舎建設は多額の資金を必要とするため建設を計画している市町村は建設のための基金を積み立て、自治体内の各年齢層や各種団体からの代表者や学識経験者等で構成される審議会の審議を経て答申を受け建設へと進む。本市においても建設は合併時からの懸案であったが、建設のための基金の積み立て等はしてこなかった。前市長も建設を模索していたが果たせず、門脇市長も就任時は選挙公約等により庁舎建設の議論を凍結していたが、その後市内各団体からの推薦や応募者、学識経験者等からなる「みんなの庁舎検討委員会」を立ち上げ協議の後、庁舎についての答申を受けた。その後、職員による庁舎内の検討会や議会による検討会等が行われたが建設候補地を特定するには至らなかった。しかし、市は建設に至るまでには各種許可をクリアしなければならず、長い年月を要するとの説明をしているにもかかわらず、合併特例債の有効期限が差し迫ってから提案したことが悔やまれる。

（門脇民夫記）